

添付11 その他関連資料

11-1 調査団名簿

11-2 調査行程

11-3 主要面会者リスト

11-4 予備調査協議議事録抜粋

中華人民共和国
天湖貧困区貧困救済計画 予備調査

調査団員名簿

1. 団 長
村上 裕道 / JICA 無償資金協力部業務第4課 課長代理
2. 計画管理
室岡 直道 / JICA 無償資金協力部業務第4課
3. 農業開発／灌漑計画
湯川 義光 / 日本技研（株）
4. 給水計画
藤山 剛敏 / 三井金属資源開発（株）
5. 給配電計画
市川 武司 / 電源開発（株）
6. 通訳（中国語）
小田 幸雄 / JICE

調 査 行 程

No	月日	曜日	行 程		宿泊
1	2/27	火	①②成田(発 10:35) 北京(着 13:35) [NH905]		①②北京
2	2/28	水	①②表敬：大使館、JICA 事務所 経済貿易部表敬		①②北京
3	3/1	木	①②北京(発 11:25) 桂林(着 14:00) [CZ8912]		①②桂林
4	3/2	金	①② 9:00-12:00 桂林市政府の関係部門との 会談	14:30-18:00 広西壮族自治区対外貿易経済 庁、貧困救済弁公室、桂林市政 府指導者との会見	①②桂林
5	3/3	土	①② 9:00-11:00 桂林 全州県 移動(車)	15:00-18:00 全州県指導者のプロジェクト 概況紹介	①②全州県
6	3/4	日	①② 8:10 出発 東山郷視察	13:00-17:30 東山郷視察	①②全州県
7	3/5	月	①② 8:10 東山郷視察	13:00-18:00 白宝郷視察	①②全州県
8	3/6	火	全州県政府の関係部門及び全 全州県政府との会談	14:30-18:00 全州県政府の関係部門及び全 全州県政府との会談	①②全州県
9	3/7	水	①② 8:30- 両河郷視察	-16:00 両河変電所視察	①②全州県
10	3/8	木	①② 8:40-11:30 全州県 桂林 移動	14:30-18:00 調査事項に関わる協議	①②桂林
11	3/9	金	①② 協議議事録についての 意見交換	①②協議議事録作成 署名	①②桂林
12	3/10	土	①②資料整理	①②資料整理	①②桂林
13	3/11	日	①②現地報告書作成	①桂林(発 20:00) 北京(着 22:40) [CA1226]	①北京 ②桂林
14	3/12	月	②桂林 全州県	調査日程打ち合わせ カウンターパートからの聞き取り	①北京 ②全州県
15	3/13	火	② 8:10 出発 城郊郷ダム建 設予定地調査	②白宝郷既存ダム、東山及び白 宝変電所建設予定地調査	②全州県
16	3/14	水	②(電力)既存変電所調査 (灌漑、給水)カウンターパートから の聞き取り	②カウンターパートからの聞き取り	②全州県
17	3/15	木	②カウンターパートからの聞き取り	②カウンターパートからの聞き取り	②全州県
18	3/16	金	②カウンターパートからの聞き取り	②カウンターパートからの聞き取り	②全州県
19	3/17	土	②カウンターパートからの聞き取り	②資料整理	②全州県
20	3/18	日	②資料整理	②全州—桂林 桂林(発 19:15) 北京(着 21:55)	②北京
21	3/19	月	②報告：JICA 事務所、対外貿易経済合作部 北京(発 14:50) 成田(着 19:00) [NH906]		

①官団員

②コンサルタント団員(通訳含む)

主要面会者リスト

対外貿易経済合作部

楊鉄林 国際経貿関係司
謝城 国際経貿関係司

広西壮族自治区対外貿易経済合作庁

李志勇 副庁長
李杏 国外経済合作処 処長

広西壮族自治区貧困救済事業管理センター

莫秀根 副処長

桂林市政府

陳路旺 副市長
康天保 副市長
唐広宇 副秘書長
曾加旺 計画委員会副主任
林冬生 対外貿易経済合作局副局長
許旭林 対外貿易経済合作局科長
劉忠 貧困救済弁公室副主任
呉林佳 科学技術委員会外事弁公室副主任
崔岩 桂林国際友好交流中心
鄒弘靈 水電局副局長 エンジニア
邵忠謨 桂林水電設計院高級エンジニア

全州県政府

黄福喜 県長
李蘭栄 副県長
蔣良嘉 副県長
陸良弟 副書記
門明秀 県長補佐
趙仲華 政府弁公室主任 エンジニア
蔣奔程 政府弁公室主任
劉祥喜 水電局副局長 電力公司責任者 (送配電担当)
谷業亮 水電局副局長 エンジニア (給水、灌漑担当)
傅強 貧困救済弁公室主任 エンジニア (給水担当)
蔣士薊 果実生産管理局 (通訳)

4 鄉人民政府

俸 娥	東山鄉鄉長
鄭 強	白宝鄉鄉長
趙奇玲	兩河鄉鄉長
蔣經燦	全州鎮（城郊鄉）鎮長

日本大使館

門脇仁一	二等書記官
------	-------

JICA 中国事務所

神谷克彦	次長
糟谷良久	担当
李 瑾	ローカルスタッフ

中華人民共和国
 広西天湖貧困区貧困救済計画予備調査
 協議議事録

日本政府は、中華人民共和国の要請に基づいて、「広西天湖貧困区貧困救済計画」（以下、計画という）に関する予備調査の実施を決定し、その実施を国際協力事業団（以下、JICA という）に委託した。

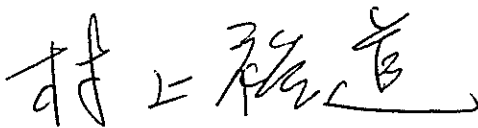
JICA は、JICA 無償資金協力部業務四課村上裕道を団長とする予備調査団（以下、調査団という）を2001年2月27日から3月19日まで中華人民共和国に派遣し、桂林市人民政府及び全州県人民政府関係者（以下、中国側という）と協議するとともに、現地調査を実施した。

協議及び現地調査の結果、双方は附属書に記述された主要事項について確認した。本調査団は引き続き現地調査を実施し、予備調査報告書を取りまとめ、日本政府に報告する予定である。

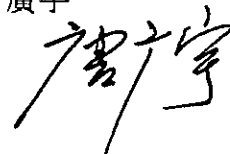
本議事録は、本文と附属書から構成され、日本文、中国文それぞれ2部作成し、日中双方の合意のもとに署名され、各関係機関が各1部所有し、ともに同等の効力を有するものである。

2001年3月9日 桂林にて

日本国
 国際協力事業団
 予備調査団長
 村上 裕道



中華人民共和国
 桂林市人民政府
 副秘書長
 唐 廣宇



全州県人民政府
 県長
 黄 福喜



附属書

1 計画の目的

本計画は、広西壮族自治区の天湖貧困区と称される貧困地域において貧困救済と生活環境改善を目的とした水利・給水・給電の事業を行うもので、この事業にかかる費用の内、資機材の調達部分につき、日本政府に対し中国政府が無償資金協力の要請を行ったものである。

2 対象地域

中国側は、本計画の対象地域は、別添1に示す、広西壮族自治区桂林市全州県天湖貧困区における四郷（東山郷、白宝郷、両河郷、城郊郷）であることを説明した。

3 責任機関及び実施機関

中国側は、本計画の責任・実施機関は、桂林市人民政府及び全州県人民政府であることを説明した。

4 要請内容

中国側は本調査団に対し、最新の要請内容を説明した。中国側から要請された現時点での調達資機材の内容は別添2のとおりである。

日本側はこれら要請内容について、それぞれの資機材の用途、使用場所、ならびに中国側負担による現地工事に要する工期の説明を求めた。

5 今後の方針

JICA は今後の現地調査及び国内解析をへて、これら要請内容の必要性、無償資金協力としての妥当性及び適正規模を検証し、日本政府に対し報告する。なお案件の採択については日本政府によって決定されるものである。

6 日本の無償資金協力の仕組み

調査団は、別添3に示した日本の無償資金協力の仕組みを説明し、中国側は、本件が仮に実施された場合の供与機材の適正使用、増値税負担義務を含め、これを十分に理解した。

7 調査の予定

コンサルタント団員は引き続き、2001年3月17日まで現地にて調査を行う。